

## 青少年・環境委員会 基本方針（案）

青少年・環境委員会 委員長 畠中 隆嘉

1 近年、情報通信技術の急速な革新により社会構造が大きく変化している今、また昨年の  
2 新型コロナウイルス感染症流行の影響で地域社会でも情勢が変わり、子ども達が成長して  
3 いく上で必要な心の学びや人と人が直接コミュニケーションを取る機会が困難化しており  
4 様々な体験を得る機会が極めて少なくなっています。子ども達の人格形成のために心  
5 と体が育まれる場を提供し、寛容大度な人材に育て時代や環境が変わっても、人に優しく  
6 思いやりの心の大切さを伝えていくことが必要です。

7 まずは、一般社団法人佐賀青年会議所が一致団結をして青少年育成事業に取り組むため  
8 に、現在の社会構造や大きく変わった情勢、子ども達が置かれている現状を知っていただ  
9 く場を設け、関心を得ることでメンバーの参加意識の向上を図ります。そして、子ども達  
10 が地域の様々な世代の人と交流を図ることで、地域に愛着を持ち、コミュニケーション能  
11 力を高め、多様性のある心を育み佐賀の次代の担い手として自己成長できる場を提供しま  
12 す。さらに、急速に変化する近代社会においてネットワーク空間によるコミュニケーションが  
13 日常化し、柔軟に対応できる能力が必要不可欠であり、IT教育を誰しもが十分に受  
14 けていない親世代の大人とITが身近にある子ども達が共通の認識を持ち相互理解を深め、  
15 同じ目線で物事を捉えるようになる事で、判断力や決断力の成長を促し、時代や環境が変  
16 わっても、思いやりや感謝、心の成長ができる事業を構築します。また環境では地域に愛  
17 着を持って暮らせるために、諸先輩が続けてこられた河川清掃を4月と10月に実施し、  
18 地域環境の美化、大切さを継承します。そして地域発展の為に第一線で活動をし、数々の  
19 功績を残してこられた卒業生に感謝の気持ちと精一杯の恭敬の心を込めて、卒業生を送る  
20 会を開催し、更なる友情を深めます。

21 青少年育成事業を通して未来ある子ども達が人と人との繋がりを大切にし、感性を育み、  
22 大きな時代の変遷に打ち勝つていけるよう闘志の心を持って力強く闘い、現在（いま）を  
23 生き抜き次代へつないで参ります。

24

25

26 [事業計画]

- 27 1. 青少年事業の企画・運営（7月）
- 28 2. 河川清掃（4・10月）
- 29 3. 例会の企画・運営（5月）
- 30 4. 卒業生を送る会の企画・運営（12月）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

- 31 5. 佐賀ブロック大会参加者への支援（6月）  
32 6. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）